

かすかべ KASUKABE 議会だより

2019(平成30)年4月30日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第51号



改修の進む古隅田川



平成30年4月1日現在
人 回 235,372
男 116,879
女 118,493
世帯数 105,008

シヨウブ

主 な 内 容

- 主な議案の紹介…………… 2～3 ページ
- 審議結果…………… 4～5 ページ
- 一般質問…………… 6～15 ページ
- 今定例会傍聴状況等…………… 15 ページ
- 閉会中の委員会活動…………… 16 ページ

平成30年度一般会計予算は

711億3000万円

平成30年度 一般会計予算を可決

平成30年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ711億3千万円とするものです。

歳入の主なものでは、市民税個人・法人において、景気回復や雇用拡大、企業業績の回復などを見込み、前年度比較で合計7億4千万円の増額を見込んでいます。

歳出の各分野において、保健・医療・福祉分野では、さらなる子育て世代への支援や環境整備を計画的、段階的に進めるため、第2次子ども・子育て支援事業計画を策定するためのアンケート調査を実施します。また、病児保育事業に対応した保育所及び児童発達支援センターの複合施設を整備するため、基本設計等を実施します。また、大規模

災害発生時に備え、トリアージ訓練などの実施や災害時の医療体制の充実を図ります。また、市民の健康づくりを支援し、健康の維持増進及び生活習慣病の予防を図るため、健康づくり計画等を策定します。

生活・環境分野では、老朽化したごみ焼却施設の基幹的設備改良工事を昨年に引き続き実施します。また、消防自動車や救急自動車の計画的な更新などを行います。

都市基盤分野では、浜川戸橋の完成に向け、かけかえ工事等を実施します。また、春日部駅東口へのアクセス向上と中心市街地の活性化並びににぎわいの創出を図るため、袋陣屋線から神明通り間を整備します。また、計画的な土地利用の推進を図るため、北春日部駅周辺地区の基本設計等を実施します。

教育・文化分野では、情報

教育を推進するため、市内全

小中学校にタブレットパソコンを配置します。また、庄和

北部地域における義務教育学校の整備に当たり、校舎の増

築及び既存校舎の改修工事等を実施します。また、放課後

における子ども達の安心安全な活動の場とするため、放課

後子ども教室を新たに3校開

校するものです。

産業・経済分野では、新たな観光資源を創出するため、

観光振興基本計画を策定しま

す。

行財政分野では、統計解析

システムの導入により人口動

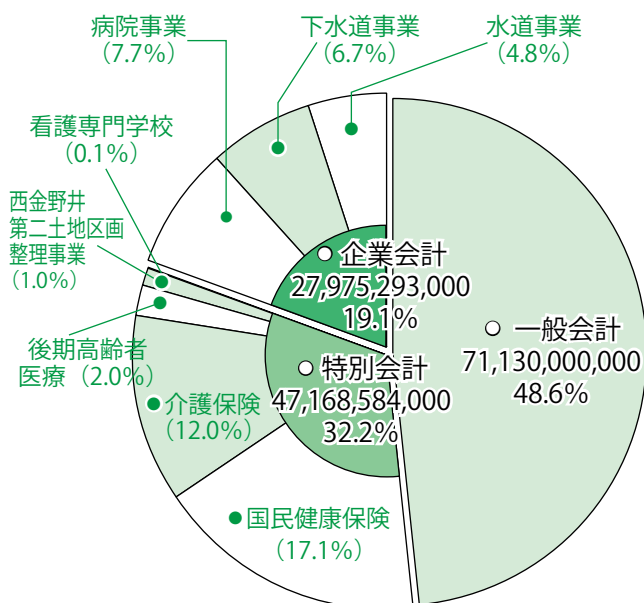
態の分析を行うなど定住促進に係る調査及び推進を図りま

す。また、本市の知名度を全国的に高め、イメージアップを図るため、第2次シティセールス戦略プランを推進するものです。

【賛成多数で原案可決】

平成30年度 会計別予算

当初予算額 1462億7387万7000円



区分	予算額	前年度増減率
一般会計	711億3000万0000円	1.1
特別会計	国民健康保険	249億8965万2000円 △ 22.8
	介護保険	175億8677万1000円 0.7
	後期高齢者医療	29億2258万5000円 12.1
	西金野井第二土地区画整理事業	15億1805万9000円 300.5
	看護専門学校	1億5151万7000円 △ 1.9
企業会計	病院事業	112億427万1000円 6.2
	下水道事業	98億1027万5000円 1.1
	水道事業	69億6074万7000円 3.4
総額	1462億7387万7000円	△ 2.7

※前年度増減率は、平成29年度当初予算との比較 (単位: %)

※計数については、それぞれ四捨五入しているため、合計で一致しないものがあります。

修正案

修正案では、18億1562万1千円を増額し、歳入歳出をそれぞれ総額729億4562万1千円とするものです。

修正案の歳入では、公民館の使用料を無料に戻します。

次に、財政調整基金繰入金を増額し、今回の予算修正に伴って不足する財源を補います。

次に、繰越金はやや少なめに見積もって15億円を計上します。

次に、雑入を減額し庄和地域の給食費を無料化します。

歳出では、長寿記念事業として、77歳の方へ1万円を贈呈します。

次に、値上げを行わないために、介護保険特別会計および国民健康保険特別会計への繰り出し金をそれぞれ増額します。

次に、市内経済の活性化を図るため、住宅リフォーム助成事業を創設します。

次に、春日部地域の給食費を無料化します。

最後に、市民プール建設に向けて調査設計費を計上します。

【賛成少数で否決】

討論

人口流出に歯止めを掛け経済も財政も立て直す
修正案に賛成（日本共産党）

市民にとって一番身近な市政は、国の悪政の防波堤となつて市民の命と暮らしを守り、福祉の増進、地域経済の活性化と子育て支援で、まちの活気を取り戻すことが今、強く求められています。

最大の課題は、人口減少に歯止めをかけることです。市の人口は平成13年のピーク時から約8700人、平成17年の合併時から約6500人も減少しています。特に減少が著しいのは30歳から39歳の子育て世代で、この5年間で6400人も減少しており、深刻な状況です。その要因は、合併後に行われてきた公民館の有料化、国保税や保育料、下水道料金の値上げ、敬老祝金や福祉タクシー券、燃料券、私立幼稚園就園奨励費の縮小や削減、市民プールの廃止など、さまざまな市民への負担増とサービスの低下です。

平成30年度予算は総額711億円で、過去最大規模の予算となっていますが、市が今、

重視して取り組まなければならない課題に前向きな予算となつていません。

修正案では、子育て世代への経済的支援にとどまらず、教育の一環である給食を食育として充実させる抜本的な提案となる学校給食費の無料化。

一般会計からの繰り入れによる国保税・介護保険料の値上げ中止と、国保税の1人1万円引き下げ。長寿記念事業として、日本の平和と繁栄にご尽力いただいた77歳の方への敬老祝金の復活。地域活動の拠点である公民館の使用料無料化。わずかな補助金で大きな経済効果をもたらす住宅リフォーム助成制度の創設。子育て環境の整備でもあり、高齢者の健康づくりにもつながる市民プールの建設などが提案されています。また、財源は繰越金と、財政調整基金の一部を取り崩して補います。

これらの修正案の施策を実施することにより、若い世代の人口流出に歯止めがかかり、人口増に転じるきっかけとなります。さらに、循環型の地域経済の活性化でまちの活気を取り戻し、税収を増加させ、経済も財政も立て直す提案となつていくことから、原案に

反対し、修正案に賛成します。しっかりと将来を見据え、選択と集中による予算配分がされた原案に賛成（新政の会）

最初に、原案の一般会計予算は、第2次総合振興計画における重点プロジェクトや、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業を中心に、しっかりと将来を見据え、選択と集中による予算配分がなされたことは評価できるものと考えます。

原案の歳出における子育て・教育分野では、子育て世代包括支援センターの開設は、子育ての悩みを抱える家庭には大変心強い事業だと期待します。また、複合型子育て支援施設整備事業は、子育て世代の多様なニーズへの対応に寄与するものと考えます。

福祉・保健・医療分野では、いつ起こるかかわからない大規模災害に備え、トリアージ訓練や救護用薬品等の備蓄・管理委託など、災害時の医療体制の充実が図られることに期待します。

観光産業経済分野では、新たな観光振興基本計画の策定とインバウンド受け入れ態勢の強化で、地域経済活性化を

期待します。また、老朽化した農業用施設の整備補修等は、経営基盤の確立や生産性向上に寄与するものと考えます。

都市基盤分野では、豊春駅東口の駅前広場整備は、駅周辺地域の活性化を期待します。また、北春日部駅周辺地区の土地区画整理事業の調査が進められることは評価します。

行財政分野では、ターゲットを絞った戦略的な情報発信を実施することで、知名度とイメージアップが図られ、さらに人口流入の促進につながるものと考えます。

以上、原案は目指すべき将来像の実現に向けて、総合振興計画を着実に推進するため、貴重な財源を効率的・効果的に活用し、バランスの取れた予算であると評価します。

次に、修正案は、歳入減少と歳出拡大による財源不足を埋める確かな財源が示されておらず、中長期的な視点を欠いた持続可能性に乏しい予算案であるため、市民の理解は得られないものと考えます。

今後も健全かつ持続可能な財政運営を維持し、総合振興計画に掲げる将来像の実現に向け、各施策の着実な推進を要望し、原案に賛成します。

3月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議案第 1 号	職員の自己啓発等休業に関する条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 2 号	債権管理条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 3 号	地域福祉計画審議会条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 4 号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 5 号	観光振興審議会条例の制定 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 6 号	行政組織の改正に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 7 号	個人情報保護条例及び情報公開条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 8 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (厚生福祉・建設・教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 9 号	職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 10 号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 11 号	特別職の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部改正 (総務)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 12 号	国民健康保険保険給付費支払基金条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 13 号	手数料条例の一部改正 (総務・建設・教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 14 号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 15 号	後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 16 号	介護保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 17 号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 18 号	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 19 号	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 20 号	重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 21 号	国民健康保険条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 22 号	国民健康保険税条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 23 号	市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 24 号	都市公園条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 25 号	緑の保全と緑化の推進に関する条例の一部改正 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 26 号	市立学校設置条例の一部改正 (教育環境)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 27 号	放課後児童クラブ条例の一部改正 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 28 号	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 29 号	埼玉県市町村総合事務組合規約の変更 (総務)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 30 号	旧商工振興センター解体工事請負契約の締結 (教育環境)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 31 号	市道路線の認定 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 32 号	市道路線の廃止 (建設)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 33 号	平成29年度一般会計補正予算 (第5号) (各委員会)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 34 号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算 (第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 35 号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 36 号	平成29年度介護保険特別会計補正予算 (第3号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 37 号	平成29年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計補正予算 (第3号) (建設)	原案可決	○	○	○	○	○		○

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議案第 38 号	平成29年度市立看護専門学校特別会計補正予算 (第 3 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 39 号	平成29年度水道事業会計補正予算(第 2 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 40 号	平成29年度病院事業会計補正予算(第 2 号) (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 41 号	平成29年度下水道事業会計補正予算(第 2 号) (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 42 号	平成30年度一般会計予算 (各委員会)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 43 号	平成30年度国民健康保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 44 号	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 45 号	平成30年度介護保険特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 46 号	平成30年度春日部都市計画事業西金野井第二土地区画整理事業特別会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 47 号	平成30年度市立看護専門学校特別会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 48 号	平成30年度水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 49 号	平成30年度病院事業会計予算 (厚生福祉)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議案第 50 号	平成30年度下水道事業会計予算 (建 設)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 51 号	教育委員会教育長の任命につき同意を求める (付託省略)	同 意	○	○	○	○	○	○	×
議案第 52 号	副市長定数条例の一部改正 (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 53 号	平成29年度一般会計補正予算(第 6 号) (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 54 号	平成30年度一般会計補正予算(第 1 号) (総 務)	原案可決	○	○	○	×	○		○
議案第 55 号	副市長の選任につき同意を求める [種村 隆久 氏] (付託省略)	同 意	○	○	○	×	○		○

諮 問

(○:賛成 ×:反対)

諮問番号	諮 問 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める [関根 一正 氏] (付託省略)	推薦に賛成	○	○	○	○	○	○	○

請 願

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

請願番号	請 願 名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
請願第 1 号	憲法第九条の改定を行わないよう、意見書を国に提出することを求めるについての請願 (総 務)	不 採 択	×	× ₋₁	×	○	×		×
請願第 2 号	国民健康保険税の引き下げを求める請願 (厚生福祉)	不 採 択	×	×	×	○	○		×
請願第 3 号	奨学援助の入学準備金の事前支給を求める請願 (教育環境)	採 択	○	○	○	○	○		○

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

議案番号	議員提出議案名 ()は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	新 風 の 会	公 明 党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	民 進 党	無 所 属
議第 1 号議案	議会委員会条例の一部改正 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議第 2 号議案	洪水回避等を目的とした流量確保のための中小河川の河道掘削の予算の確保を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議第 3 号議案	生活保護基準の引き下げに反対する意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	○		×
議第 4 号議案	相次ぐ米軍機の事故等の原因究明と飛行中止を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	× ₋₁	○	○	×		×
議第 5 号議案	「森友学園」疑惑の徹底解明を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	○	×	○	○		○ ₁ × ₁
議第 6 号議案	「働き方改革」関連法案の提出をやめるよう求める意見書 (付託省略)	否 決	×	× ₋₁	×	○	○		○ ₁ × ₁
議第 7 号議案	春日部市歯科口腔保健の推進に関する条例 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○		○
議第 8 号議案	人間ドック補助の再開を求める決議 (付託省略)	原案可決	×	○	○	○	○		×

※民進党の空欄は、会期中に無所属へ異動があったためです。

一般質問

市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に27人が登壇

保育所・学童保育所の待機児童解消を



松本 浩一
議員

今年2月1日時点での保育所の「入所保留児童数」は341人で、昨年より60人も多く、特に0歳児から2歳児が多い状況です。今年4月入所については、第1次申込選考の結果、2月時点で入所未定者数は165人です。また、4月から定員100人の粕壁小学校の学童保育室に入れない児童が55人もいます。

保育所の「待機児童ゼロ」に向けた取り組みと、粕壁小学校の学童保育室の対応はどうなっているのでしょうか。

○子育て支援担当部長

平成29年度は様々な取り組みにより、全体で263人の定員の拡大を図りました。平成30年度についても、粕壁・内牧区域、武里区域、豊春区域の幼稚園3園が幼保連携型認定こども園へ移行準備を進め、また、小規模保育事業の実施も、4事業所の開設へ準備を進めています。様々な取

り組みを積み重ね、待機児童ゼロの早期達成を目指します。粕壁放課後児童クラブについては、学校施設の使用対応も考え、施設の面積や安全面を配慮し、保育の必要性の高い4年生までを優先させた受け入れを考えています。

○市長

これまでも関係機関と積極的に協議を重ね、定員拡大を図ってきたところです。引き続き待機児童解消に向けて全力で取り組んでいきます。

このほか

○教員の長時間勤務の解消でゆきとどいた教育を

平成30年度施政方針について



鬼丸 裕史
議員

本定例会の冒頭に、石川市長から平成30年度に向けた施政方針が表明されました。この「市長の平成30年度施政方針」に関連して、市としては今後どのようなところに重点を置いた市政運営をしていくのか。また、次年度に向けた市長ご自身の意気込みを伺い

ます。

○総合政策部長

1点目は、子育てが楽しい、元気で生き生きと笑顔で暮らせるまちとして、子育て・健康長寿プロジェクトを位置付けています。2点目は、誰からも選ばれる魅力的でにぎわいのあるまちとして、まちの拠点整備、経済発展プロジェクトを位置付けています。3点目は、未来へつながる、みんなのできる安心・安全なまちとして、安心・安全・持続可能なまちプロジェクトを位置付けています。以上の3つの重点プロジェクトを中心に、それぞれの施策、事業を総合的かつ計画的にバランスよく推進し、本市の将来像の実現に向けて、取り組んでまいります。

○市長

議員の皆さまと協力し、市政運営に取り組み、さらに私自身が先頭に立ち、職員と一丸となって輝かしい春日部の未来に向けて全身全霊をかける「つながる にぎわう すまいるシティ春日部」の実現に向けて、たゆまぬチャレンジをしてまいります。

このほか

○都市交流について

市長の平成30年度 施政方針の中から



小久保博史
議員

施政方針は、市政運営の基本的な考え方や主要な施策などについて、代表的なことを挙げていることは十分理解していますので、確認の意味合いも込め、予算編成を絡めながら、それぞれの基本目標の中から伺います。

インバウンドに絡めて、観光・産業の分野から、「魅力ある観光資源の連続性向上と情報発信」について伺います。特にインバウンドの受け入れ態勢強化及び利便性の向上を図るということですが、訪日外国人観光客の方々に向けた配慮として、市が管理する公衆トイレについて伺います。それぞれの駅周辺や公園内に公衆トイレがありますが、今回は春日部駅周辺のトイレについて伺います。

「特に、インバウンドの受け入れ態勢強化及び利便性の向上を図る」ということですので、全てのトイレの洋式化はできないでしょうか。お聞かせください。

○環境経済部長

公衆トイレなどの洋式化につきましても、春日部駅東口の男子トイレと古利根公園橋のせせらぎトイレにおいて洋式化が済んでいないことから、観光施設の環境整備に関する補助金など有利な財源の確保に向けた調査を進め、必要に応じて対応していきたいと考えています。



古利根公園橋せせらぎトイレ

防犯カメラの充実で さらなる安心安全なまちに



鈴木 一利
議員

昨年末より春日部市では路上での事件が多発してしまいました。今後、春日部警察署のパトロール強化はもちろんのこと、市全体で犯罪抑止・防犯意識の向上が大切になってくるのではないのでしょうか。この犯罪抑止の意味でも効果があると思われるのが防犯カメラです。そこで、以下伺います。

①設置についてどのような考え方で進めていくのか
②通学路への設置
③夜間対応型の設置
④防犯カメラ設置者、団体には犯罪抑止効果としてのステッカー配布
⑤防犯カメラ設置補助金制度の設立

○市民生活部長

①春日部警察署など関係機関と協議をしながら、真に必要な箇所への計画的な設置を検討していきたいと考えます。

②新たな総合振興計画に、通学路における街頭防犯カメラ設置事業を規定しました。

③有用性が高いと考えられ、老

朽化などで交換する際は夜間対応型の機種に変更することを検討していきたいと考えます。

④侵入盗などの犯罪を防ぐために有効な手段となり得るか、費用対効果等も含め、春日部警察署などと協議しながら調査研究していきたいと考えます。

⑤防犯カメラ設置補助金の創設も含め、犯罪情勢や社会状況などを見極めながら、広い視野で調査研究していきたいと考えます。

このほか

○高齢者介護支援の充実を

○自転車事故防止対策について

市立医療センターについて



進 山崎
議員

春日部市立医療センターは平成28年7月に開院して1年8カ月がたちましたが、もう少し年数がたっているような気がします。そのくらい名称を含めて、市民の皆さまに浸透しているものと思います。多くの外来患者や入院患者を受け入れていて、ベッドの空

きもなく、市民はもちろん、多くの方に選ばれる病院になっているものと確信しています。今までの市立病院とは別の病院と感じるくらい、大きく変わっているのではないかと思います。そこで、旧市立病院と市立医療センターはどのように変わったのか、また、救急医療の受け入れと、今後の体制について伺います。

○病院事務部長

旧市立病院と市立医療センターの比較は、入院患者数は約35パーセントの増、外来患者数は約15パーセントの増、救急件数が約17パーセントの増となります。

救急件数については、診療科別では内科系が約14パーセントの増、産婦人科が実績で83件、整形外科が約18パーセントの増、脳神経外科が約18パーセントの増、呼吸器外科が約122パーセントの増となっています。救急の関係の医師の確保に全力を尽くしてまいります。

○病院事業管理者

各診療科が一步先を見た診療方針を決め、実践していくようにバックアップします。

このほか

○教育について

「子育てするなら 春日部に」一刻も早く 学校給食費の無料化を



今尾 安徳
議員

学校給食のある日は世帯年
収による栄養格差がなくなる
新潟県立大学の村山伸子教授
の調査結果が昨年夏まとめら
れました。低所得層の子ども
は、そうでない子に比べ、成
長に欠かせないたんぱく質や
鉄の摂取量が少ないなど、栄
養面の格差がありました。差
は主に給食のない週末に生ま
れ、栄養格差解消は給食頼み
であることが示されました。
家庭の経済状況に影響され
ることなく、全ての子どもた
ちの健やかな育ちを保障して
いく食育の観点とともに、春
日部市の最大の課題である人
口減少に歯止めをかけて、若
い子育て世代に選ばれるまち
とする政策的な判断が必要で
す。そこで、全国でもこれだ
け大きな自治体では実施して
いない給食費完全無料化を先
駆的に行っていくことが、市
の人口減少対策に対する本気
度を全国に知らしめることに

なると考えます。市長の決断
をお願いしたいのですが、見
解を伺います。

○市長
子育て支援は、全ての子育
て世代を対象とした、さまざ
まな角度からの支援策が重要
であると考えています。

今後も春日部市の将来の展
望を踏まえ、春日部の未来を
担う子どもたちのために子育
て環境の充実に取り組んでい
きます。

このほか
○市内商工業活性化に住宅リ
フォーム助成制度の早期実現
を

市有地の売却について



海老原光男
議員

過去3年間の市有地売り払
いで議会で議決案件となった
のは「旧沼端小学校跡地」、
「豊野環境センターの土地の
一部」の2件とのことですが、
今定例会において「春日部市
商工振興センター解体工事情
負契約の締結について」の議
案が上程されました。市、そ

して市民にとっても大変重要
な中心市街地にある旧商工振
興センター跡地について次の
ような報道がありました。

「市はその用地の45パーセン
ト程度を国に売却し、市内に
ある労働基準監督署、ハロー
ワークを春日部労働総合庁舎
として建設を予定している。」

とのことでした。そこで、旧
商工振興センター跡地の売り
払いについて議会で議決の
要否と売り払いまでの事務の
流れについてお伺いします。

○総務部長

普通財産である市有地を売
り払う場合、土地に関しては
価格が2千万円以上であるも
ののうち、1件5千平方メー

トル以上のものは地方自治法
第96条第1項第8号に定める
議決事件に該当するため、市
議会の議決が必要となります。

今回の案件である旧商工振
興センターの土地の売り払い
面積は約1900平方メート
ルとなる見込みで、土地の売
り払いは、部長級で構成する
春日部市用地取得管理等調整
委員会において、その適正さ

を審議し、その会議結果の報
告を受けて市長が決定します。

このほか

○火災予防について

公用車について



栗原 信司
議員

観光資源が少ない市として
は、公用車のナンバープレー
トを活用すべきと思います。
街の案内人のクレヨンしんち
やんから「904（くれよ
ん）」とか、市の郵便番号か
ら「344」などを利用する
ことで、走る観光資源となる
と思います。

また、全ての公用車にドラ
イブレコーダーを設置して犯
罪を未然に防ぐ取り組みが有
効だと思います。さらに、設置
が推進された際には「走る防
犯カメラ」や「動く防犯カメ
ラ」といったステッカーを市
内の児童生徒たちからデザイ
ンを募集することで、市民を
巻き込んだ犯罪抑止に関する
意識の啓発も進むと思いま
す。

○総務部長

公用車のナンバーを市にゆ
かりのあるものとしてPRす
ることは、少ない経費で実現
可能なものと考えられますの



公用車に設置したドライブレコーダー

で、公用車を買いかえる際に
検討していきます。ドライブレ
コーダーは、必要な機能を
検討した上で、公用車を買
いかえる際に設置する方向で取
り組んで行きたいと考えます。
ステッカーには犯罪抑止効果
が見込めると考えていますの
で、ドライブレコーダー設置
の際に関係機関と協議、調整
していきたいと考えます。

このほか

○少子化対策としての幼稚園
就園奨励費について

○成人式を18歳で

○スマホを活用した市民サー
ビスについて

おもてなしトイレについて



矢島 章好
議員

高知県では観光客の満足度の向上につながるため、県民による観光客への「おもてなし」の機運を高める取り組みを行っており、その一つとして、観光客が利用するトイレにおいて、「おもてなし」に取組んでいるトイレを公募し、認定する事業などを実施しています。本市においても国内外を問わず、訪れた方を気持ちよく迎えできる環境を整え、リピーターを増やしていく取組みは大変重要な取組みであると考えます。おもてなし機運を高める取組みの一つとして、「認定トイレ事業」に対する本市の考えを伺います。

○環境経済部長



川の駅のトイレ

のと捉えています。高知県や千葉県では5〜6つの認定要件を設けており、認定されているトイレには自治体や民間を問わず、宿泊施設や観光施設、駐車場、公園、店舗等のトイレがあります。こうしたおもてなしの機運を高める取組みは、本市を訪れた方々がストレスなく快適に観光を満喫できる環境づくりのため有効と捉え、参考にしていきたいと考えています。

このほか

○学校における働き方改革について

○夏の制服問題について

消防行政について



金子 進
議員

最近の木造建築物は燃えにくい素材を使用していますが、ひとたび火災になってしまうと燃え広がってしまいます。住宅の防火対策として消防法が改正され、住宅用火災警報器の設置が義務化されて10年経過しますが、現在の設置状況及び設置率向上のための広報について伺います。

また、近年日本を訪れる外国人観光客などの増加に伴い、消防職員が外国人と接する機会が多くなっています。そこで消防職員が救急現場において、日本語を話せない外国人とどのようにコミュニケーションを取りながら活動しているか伺います。

○消防長

住宅用火災警報器の設置率の調査につきましては、対象地域に偏りが出ないよう考慮し、無作為に抽出した住宅等に赴きアンケート調査を行っているところです。平成29年

6月1日の時点における設置率は、全国で81・7パーセント、埼玉県は77・8パーセント、本市が75・4パーセントとなっております。市内の各種イベントなどのあらゆる機会を活用しながら幅広く広報していきます。

多言語対応の指さしカードや救急ボイスストラなどを現場の状況に合わせながら活用し、日本語を話せない外国人とのコミュニケーションの確保に努めています。

このほか

○ごみ焼却施設の運営などについて

健康マイレージ事業について



佐藤 一
議員

健康マイレージ事業について、以下伺います。

①埼玉県が平成29年度より実施している「コバトン健康マイレージ」事業の概要について。

②春日部市は平成30年度から実施するが、どのようにPRしていくのか。

③健康マイレージに関連して、平成30年度に市が実施する事業として、どのようなものを考えているのか。

○健康保険部長

①ウオーキングを通してポイントをとめることで、楽しく健康づくりを進めていくもので、その歩数に応じてたまったポイント数により県内の特産品や協賛企業の商品が当たる抽選に参加することができます。

②この事業をより多くの市民に知っていただくために、広報かすかべ、市公式ホームページ及び公式ツイッターなどのSNSへの記事掲載のほか、各教室やイベントなど、さまざまな機会でのチラシ配布により事業の周知を積極的に行っていく予定です。

③ウオーキング教室を開催し、指導者のもとで正しい歩き方を理解していただき、また、大型商業施設等とタイアップしたウオーキングイベントなど、楽しくかつ継続的にウオーキングに取り組んでいただくための事業を実施したいと考えています。

このほか

○自治会加入促進について
○公園の活用について

一ノ割駅周辺及び大池地域の
交通利便性の向上について



木村 圭一
議員

昨年3月5日に一ノ割駅前広場（ロータリー）が完成し、利便性が図られてきました。

そこで以下伺います。①車の利用者が入り口を見落とさないような案内標識等を掲示できないか、②駅前広場へのバスの乗り入れについて、③駅西側から直接駅改札に入れるよう、周辺エリア整備をどのように進めていくのか、④一ノ割エリアから春日部方面に向かう際に最も利用される大池通りとユリノキ通りの結節点における朝晩の渋滞の解消に向けた今後の方向性について

○都市整備部長

①地域住民の方々と協働し、対策に取り組みます。②運行実績を検証しながら利便性の向上につながるよう、しっかりと検討を進めていく考えです。③整備にあたっては多くの地権者と地域住民の方々との合意形成が必要不可欠ですので、整備計画の策定段階から整備

手法やスケジュール、効果の検証等を協働して取り組み、整備に対する共通認識を図りながら進めていく必要があると考えています。

○建設部長

④どのような対策が最も効果的であるかを含めて、引き続き警察と協議を重ねていきたく考えています。

このほか

○ネット依存対策について
○ネット相談受付について
○ゾーン30導入の進捗について

○公共施設に宅配ロッカーを設置することについて

高齢者の一人暮らし
対策について



斉藤 義則
議員

少子高齢化や核家族化により、全国的に高齢者の一人暮らしは増加傾向にあります。

市内にも高齢者の一人暮らしの方は1万人ほどいると聞いています。そしてこれら高齢者の一人暮らしの方たちの一番の課題は安否の確認だと思えますが、この課題に対して

市ではどのような事業を行っているか伺います。

○福祉部長

主な事業としては4点です。1点目は緊急通報システム

設置事業で、自宅で緊急事態が起こった際にワンタッチで受信センターにつながり、緊急車両の手配ができるほか、24時間体制で看護師など専門の資格を持つオペレーターによる健康相談ができる体制をとっています。

2点目は配食サービス事業で、食の自立を支援するため、栄養バランスのとれた食事を自宅に配達するとともに直接手渡しすることにより安否確認を行っています。

3点目は高齢者安心見守り事業で、いきいきクラブ連合会の会員が定期的に電話をかけ、安否確認や健康状況の確認を兼ねた日常の不安感や孤独感の解消を図っています。

4点目は日常生活用具給付事業で、心身機能の低下に伴い、防火等の配慮が必要な方に対して火災報知機、自動消火器、電磁調理器を給付し防火の視点から安全の確保を図っています。

このほか

○害獣対策について

市内浸水・冠水対策について



武 幹也
議員

人口減少には、浸水・冠水のない快適な居住空間エリアをつくるのが長期的効果があると思います。浸水・冠水の解決により住んでみたいまち、住み続けたいまちになると思います。

今回は、内牧地区と豊春地区から道路冠水と家屋浸水が発生する地域を挙げ質問します。特に内牧地区栄町二丁目には地域最大の被害エリアです。内牧用水と排水路の間に低いエリアがあり、大雨や台風時には70センチを超える冠水地域です。道路をボックスカルバートにする地下貯留流下施設や古隅田川に至る排水路改修について、道口蛭田地域と増富地域の春日部ハイデンス周辺の道路冠水の対策について伺います。

○建設部長

用地確保や施設整備に多額の費用がかかることから、貯留施設を設置することは難し

いものと考えています。水路改修については、古隅田川の改修の効果を確認した上で、その必要性について判断したいと考えています。道口蛭田地域では、上豊川と古隅田川を整備し、流域の浸水被害の軽減を図っています。増富地域では、1級河川新方川と大貫堀川において一部未整備であることから、本市において対策を実施することが現在難しい状況です。

このほか

○人間ドックについて
○高齢者交通安全の為の免許返納について



道口蛭田の冠水地域の水路

市長の平成30年度 施政方針について



吉田 剛
議員

平成29年度は、第1次春日部市総合振興計画の最終年度であり、計画の目標値と実績値の分析をしっかりと行うことは、今後のまちづくりにおいて重要なことであると考えます。

一方で、平成30年度は、第2次春日部市総合振興計画の計画初年度であり、この年度でどのようなスタートを切るかにより計画の成否が左右されてしまうと、言っても過言ではないくらい重要な年度であると考えます。

そこで今回は、市長の平成30年度施政方針について、第1次春日部市総合振興計画の総括と、石川市長の平成30年度予算における意気込みについて伺います。

○総合政策部長

重点プロジェクトとして位置付けた56事業のうち市立病院再整備事業等の7事業が既に完了していることから順調

に進捗していると考えます。平成30年度に改めて総合振興計画の検証を行い、総括したいと考えています。

○市長

環境の変化に柔軟に対応しながらさまざまな施策をスピード感を持って実現していかなければならないと考えています。そのために私自身が先頭に立ち、第2次春日部市総合振興計画に掲げるまちの将来像「つながる にぎわう すまいるシティ 春日部」の実現に向け、職員と一丸となって全身全霊をかけ、チャレンジしてまいります。



第2次春日部市総合振興計画

豊春地域に児童館の設置を



坂巻 勝則
議員

市の児童館は現在、エンゼルドーム、グーカすかべ、スマイルしようわの3館があります。しかし、どの児童館も春日部市の東側に位置しており、豊春地域からは遠い存在です。小さい子どもを連れて自転車や公共交通機関で行こうと思うと、時間も体力も相当に使ってしまう、次第に足が遠のいてしまうのが実情です。

平成28年度の来館者数を地区別の人口で除した利用率が一番高かったのは幸松地域で204.4パーセント、一番低かったのは豊春地域で48.6パーセントでした。

幸松地域の人と比べ、豊春地域の人は4分の1しか利用できていません。これでは明らかに地域格差が生まれていると言わざるを得ません。

本来、どの地域の子どもの権利があるはずなのに受けられ

れない。これは不平等だと思っています。これは不平等だと思

います。昨年10月の市長選で石川市長は「科学技術学習児童館の創設」を公約しました。そこでぜひ、豊春地域にこの児童館を設置していただきたいと思

○市長

今後の公共施設のあり方を、各地域の実情を踏まえ、さまざまな角度から十分に検討する中で適正配置を進めていきたいと考えています。

○このほか

一ノ割駅の橋上化を

春日部市観光開発施策の取り組みについて



水沼日出夫
議員

本市の経済発展プロジェクトとしての観光振興について、新たな観光資源の創出や活用を図り、中心市街地の活性化やホテルチェーン等の企業誘致への取り組みを一体的に進めることができるようなセクションの設置の方向性があります。

その中から新たに設置される春日部市観光振興審議会の概要と、行政組織上の観光振興課の役割を伺います。

また、平成30年度に策定される観光振興基本計画について、第2次総合振興計画との整合等を含め、その位置付けや概要、及び策定期間と計画の範囲等を伺います。

○環境経済部長

観光振興審議会は、本市の観光振興を推進するため、執行機関における附属機関として設置するもので、市の観光振興に関する事項を調査審議するものとしています。

観光振興課は観光に関する広報活動等を積極的に行うとともに観光施策を企画立案する等、総合的な調整役を担っていくものと捉えています。

観光振興基本計画は、観光振興に必要となるビジョンを示し、本市の強み、特色や今後取り組むべき方向性についてまとめるもので、第2次総合振興計画との整合性を図り、観光分野の個別計画として位置付け、観光にかかわりの深い部署の施策を反映し、総合振興計画の最終年度となる平成39年度までの計画としていきます。

中心市街地の雇用・消費拡大について



荒井 寛 議員

中心市街地の現状は大変厳しい状況にあると考えます。

中心市街地において、さらに多くの雇用をつくり出すことはできないでしょうか。例えば本社ではなく支社機能の誘致や、創業支援により中心市街地にオフィスを構えられる業種を募るなど、雇用がつかれる産業を引っ張ってくるようなまちなかの雇用政策はとれないでしょうか。

このことにより人の流れを増やす、昼間の人口を増加させることが可能であると思いますが、市の考えを伺います。

○環境経済部長

雇用を創出するためには、まず中心市街地が活性化することが必要であり、そのためには大勢の人たちがまちなかに常時いることが重要と考えます。春日部労働総合庁舎が中心市街地に立地すると安定した人の流れが生まれ、交流人口が増加します。また、周

辺部に飲食店や物品販売店、オフィス等の民間事業者の進出も見込まれ、中心市街地の活性化や雇用の創出につながるものと期待しています。

平成30年度は中心市街地活性化企業誘致担当を配置し、中心市街地・企業・雇用が三位一体となった施策が行えるよう努力していきたいと考えます。

このほか

○道路行政について

○河川・道路・公園など、市民の財産である公共空間の利活用を推進して魅力ある中心市街地を創るについて

春日部駅連続立体交差事業の見直しと東西自由通路を



宇都宮 武彦 議員

連続立体交差事業は、完成までに多大な時間を要するところと、多額の費用が必要となることが問題です。

石川市長は、昨年市長選で2年以内の着工を掲げていました。都市計画決定の見直しと、2年以内に着工できるのか伺います。総事業費と負担

障がい者(児)の自立と生活支援及び障がい者(児)の社会参加の促進について



中川 朗 議員

療育支援の充実については、障がいのある子どもたちに対し、よりきめ細やかなサービスの提供が必要と考えています。

本市のふじ学園は老朽化が進行しており、そういった対応が難しいと見受けられます。このような課題を同時に解消するため、複合型子育て支援施設を整備することですが、ぜひとも取り組むべき事業であると考えています。

○子育て支援担当部長

施設整備の目的については、待機児童の解消を図ること、また保育サービスや療育支援の充実を図ることとし、さらには障がいの有無にかかわらず、子どもたちのさまざまな交流を通じた、自然な出会いによるノーマライゼーションの推進を図るため、病児保育に対応する保育所と児童発

達支援センターを複合施設として一体的に整備するものです。

特徴としては、大きく3点あると考えています。

1つ目は、本市では初となる病児保育に対応した公立保育所を新設する点です。

2つ目は、児童発達支援センターについて、老朽化したふじ学園の建てかえに合わせ、療育支援の一層の充実を図る点です。

3つ目は、保育所の新設と児童発達支援センターの移転建てかえを複合施設として一体的に整備する点です。



ふじ支援センター

春日部市の学校教育について



荒木 洋美 議員

春日部市の学校教育は総合振興計画の「はぐくみの施策」を受け、生きる力の育成を目指す春日部市ならではの教育を推進しています。各学校が地域と連携した魅力ある学校づくりのための特色ある教育活動を展開しています。

その全体像となる「かすかべっ子はぐくみプラン」を共有するとともに「伝え合い、学び合い、育ち合い、思い合いがうれしい教室、うれしい学校」を合い言葉に春日部メソッドを推進しています。

その取り組みの一環として小、中学校の教職員の代表の方が「春日部メソッド実践発表会」を行っています。もつとたくさんの方など参加規模を大きくして行ってみたいかがででしょうか。

○学務指導担当部長
発表会については、多くの方々に広くご案内し、提案発表を参観していただくことで

努力し続ける教職員への信頼も高まり、教育効果が得られると考えられることから貴重なご提案と受け止めさせていただきます。今後、情報公開あるいは個人情報保護の観点から内容を精査した上で、多くの方々の参加について研究していきます。

このほか

○市民の防災意識啓発について

○障がいのある人が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるために

○就学援助、学用品費等の入学前支給について



春日部メソッド実践発表会の様子

市民プールの建設を



並木 敏恵 議員

市民プールが廃止になって8年。市民プールを願う市民の声は一層大きくなっていきます。埼玉県内では、人口20万人以上の都市で公営プールがないのは春日部市だけです。

春日部市に市民プールは要らないのでしょうか。必要性について市長の認識を伺います。

また、環境センターの余熱施設として温水プールをつくるという約束が今なお実現されていない責任をどう感じているのでしょうか。

市民との約束を26年間棚上げし、無視する姿勢に対して厳しく批判をし、早急に建設することを強く求めます。

○市長
総合的な視点に立った市政運営が最も重要であると考えています。

○環境経済部長
余熱利用施設は、熱量が余った場合に活用するものです。さまざまなサイクル法が制

定され、処理方法に大きな変革が訪れた結果、現在は熱を供給する余力はありません。豊野環境衛生センターは可燃ごみの焼却施設であり、余熱利用施設をつくるための施設ではないことをご理解いただきたいと思えます。新たなごみ焼却施設の建てかえ時に地元自治会の皆さまと十分な協議を行い、地元還元施設のあり方を判断してまいりたい旨、ご理解をお願いしています。

このほか
○福祉タクシー券を高齢者にも
○武里出張所の充実を

命、暮らしを守る誓、庄和総合支所の機能充実を



大野とし子 議員

春日部市行政組織条例の一部改正によって、庄和総合支所が部相当から課相当になります。本庁の市民生活部の下に庄和総合支所が置かれ、総務、市民窓口、福祉・健康保険の3担当となります。庄和総合支所は、合併公約で「サービスは高く、負担は低く」と

いう中、庄和地域の住民のサービスを低下させない。」というところで設置されました。変更後も現在行われている業務は継続させ、必要な業務は拡充していくべきと考えます。そこで以下伺います。①災害時に十分な対応ができるよう、地域に精通した職員を増員すること。②市民窓口担当においては、現在の業務を継続すること。③福祉・健康保険担当においては、子育て世代包括支援センターの機能を持たせること。④高齢者、障がい者、子育て中の方が総合支所で手続きを完了できること。

○庄和総合支所長

①春日部市地域防災計画に基づき、必要な組織編成により職員を動員します。②これまでと同様に総合支所1階において取り扱うこととなっています。③子育て世代包括支援センターと十分に連携を図り、適切につなぐ役割を担っていきたくと考えています。④ほぼ本庁と同等の手続きが庄和総合支所で完了する体制を整備しています。

このほか

○庄和北部地域の学校再編は、子どもたちの成長発達を保障する学校に

NHK受信料 最高裁判決について



井上 英治
議員

昨年12月にNHK受信料に
関して「合憲」との最高裁判
決が出ました。

「NHKの勝利」の報道が
多かったようですが、そうで
はなく、NHKが言っていた
「NHKからの申し込みで契
約成立」は棄却され、「TV
設置者との合意で成立」「N
HKが裁判で支払い勝訴した
時点で確定」となりました。
960万世帯もの未払いが
あるため、未払い者を全てN
HKは訴えられません。

しかも、時効までの分しか
回収できませんから、解決策
は信頼回復しかありません。

反日偏向放送の是正、年収
1700万円と言われる職員
給与の改善、組織の肥大化を
止めることです。

そのためにも市役所で支
払っているNHK受信料の見
直しを提案します。

現在、TVは何台使用し、
年間の支払い受信料を伺いま

す。
○総務部長

市役所全体で契約している
台数は、小中学校の各教室に
設置されているものなど、受
信料が免除された契約を除き
有料で契約していますが、平
成29年度の支払い実績で88台
分の契約を行い、総額で12
0万6961円を支払ってい
ます。

また、台数の内訳の部署別
では、小学校が24台、中学校
が13台、公民館が16台、消防
署が10台、本庁舎が9台、そ
のほかの施設が16台となっ
ています。

魅力ある藤の牛島駅 周辺の整備を



古沢 耕作
議員

私の地元である藤の牛島駅
周辺の整備の課題として、駅
前広場や駅に至るまでのアク
セス道路が狭く、利用者にと
って安全性・利便性に問題が
あること、また、そのことが
商店街の活性化を妨げている
現状があります。さらに、駅
の南北を結ぶ地下道は老朽化

しており、また、入口が駅改
札口から少し奥まった場所に
あるため、どこことなく薄暗く、
昼間でも怖い感じがするとの
声が、地域住民の方々から聞
かれます。春日部市の財産で
ある観光地「牛島の藤」の玄
関口でもある、この藤の牛島
駅の今後の整備、また、イメ
ージアップについて、市の考
えを伺います。

○都市整備部長

既存の都市基盤を有効活用
することが重要と考えます。

また、観光名所を紹介する案
内板の設置など、駅前広場の
イメージアップを図る施策も
有効であると考えています。

○建設部長

地下道の対策は、富士見町
地下道や南桜井地下道におい
て、明るく、誰もが通りやす
くなるよう、水族館や空を題
材に絵画を描いています。壁
画については、地域の要望を
いただいた際には意見交換を
行っていききたいと考えます。

○市長

個別箇所の整備については、
市全体の事業の中で総合的に
判断していきます。

このほか

○障がい者の社会進出の促進
について

旧新方堀について



河井 美久
議員

本市の治水対策においては、
首都圏外郭放水路の整備や1
00ミリ安心プランの実施な
ど、国や県と連携し、浸水被
害の軽減に取り組んでいるも
のと考えています。

旧新方堀は、安之堀川の西
側に位置し、豊町3丁目付近
からウイング・ハット前の市
道1―23号線に沿って新方川
まで南北に流れる水路であり、
この市道1―23号線及び周辺
の道路がたびたび冠水被害を
受けています。

そこで、以下伺います。

①現在までの整備状況や管
理の状況について。

②今後の整備方針について。

○建設部長

①新方堀は全長約3.8キ
ロメートルで、上流からウイ
ング・ハットの付近までの約
2キロメートルと最下流から
1キロメートルが整備済みで、
ウイング・ハット付近から下
流の越谷市との境界までの約

800メートルのうち、県道
野田岩槻線との交差点の前後
の約100メートルを除く約
700メートルが未整備とな
っています。管理の状況は、
のり面の定期的な除草に加え
て、流れを阻害する草の刈り
取りや護岸の修繕、堆積した
土砂のしゅんせつなどを行い、
河川の流下能力の確保に努め
ているところです。

②新方川の整備の進捗やそ
の効果を確認した上で、整備
の方向性や時期について検討
していきたいと考えています。
このほか

○中之堀川について



市道1―23号線に沿って流れる旧新方堀

**春日部女子高等学校
北側道路の道路整備について**



石川 友和 議員

春日部女子高校の北側を通る市道1-25号線は、正門から敷地に面する道路幅員は約5メートルあるかどうかという所で、狭くて危険な道です。学校関係者にお伺いした話では、春日部女子高校において、既存の校舎のバリアフリー化を図るため、エレベーターを設置する計画が持ち上がったとのことでした。

仮に、春日部女子高校において既存の校舎にエレベーターを設置することは、「春日部市開発事業の手続及び基準に関する条例」に該当し、手続が必要となるのでしょうか。

また、校舎にエレベーターを設置することになると、市は条例に基づき、埼玉県に対して女子高北側の道路後退を要請するのでしょうか。

また、仮に北側の道路後退が該当する場合、道路後退の時期については、いつごろに

なるのでしょうか。

○建設部長

エレベーターを設置するための増築については、建築行為に該当しますので、条例の手続が必要で、増築が行われる場合には、条例に基づき1メートルの後退を要請していきます。

また、道路拡幅整備の時期については、春日部女子高校で増築が行われる場合、増築工事とあわせて道路整備工事を行うものと考えています。

このほか

○小中学校の長期休業について



春日部女子高校北側の市道1-25号線

定例会・臨時会の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。

傍聴席は56席（車いす傍聴席2席を含む）となります。

会議は、通常午前10時から開催します。

**政務活動費
収支報告一覧の公開**

政務活動費は、地方議会議員の調査・研究・その他の活動に資するために交付されています。

この、政務活動費の収支報告一覧については、市議会ホームページで公開しています。

また、議会事務局のほか、市役所本庁舎および庄和総合支所の市政情報室でも閲覧できますので、お問い合わせください。

小島文男議員が逝去



小島文男議員が、平成30年3月2日に逝去されました。享年84歳。

小島文男議員は、昭和54年に春日部市議会議員に初当選し、昭和60年に民生経済委員

長、平成3年に文教福祉委員長に就任するなど要職を歴任されました。

また、平成8年に市議会副議長、平成12年と17年に市議会議長に就任され、10期連続当選により約38年間という長きにわたり、市政の発展に尽力されました。

故人の生前のご功績をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

合計	16	14	13	9	7	6	2	3/1	27	26	23	22	2/19	今定例会傍聴状況	
														傍聴者数	主な日程
136	5	17	12	33	21	30	5	5	2	1	1	2	2	上程・説明	
		討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	委員会	質疑	質疑	質疑	質疑			

常任委員会行政視察

(◎委員長 ○副委員長)



総務委員会 (守口市)
◎金子 進 ○木村 圭一 大野とし子
○今尾 安徳 吉田 剛 古沢 耕作
山崎 進



厚生福祉委員会 (郡山市)
◎佐藤 一 ○鈴木 一利 石川 友和
並末 敏恵 矢島 章好 河井 美久
小久保博史 栗原 信司



建設委員会 (岡崎市)
◎栄 寛美 ○水沼日出夫 坂巻 勝則
卯月 武彦 会田 幸一 小島 文男
蛭間 靖造 武 幹也



教育環境委員会 (福島市)
◎荒木 洋美 ○斎藤 義則 井上 英治
松本 浩一 鬼丸 裕史 滝澤 英明
海老原光男 中川 朗

閉会中の委員会活動

- ▽総務委員会
1月18日～19日
・行政視察
守口市 (新庁舎の整備について)
海南市 (新庁舎の整備について)
- ▽厚生福祉委員会
1月18日～19日
・行政視察
上山市 (かみのやま健康マ イレージについて)
郡山市 (手話言語条例について)
- ▽建設委員会
1月10日～11日
・行政視察
羽島市 (空き家対策について)
- 岡崎市 (中心市街地における水辺を活かしたまちづくりについて)
- ▽教育環境委員会
1月18日～19日
・行政視察
山形市 (中心市街地における商業振興施策及び山形まなび館について)
福島市 (農業施策について)
- ▽議会運営委員会
12月26日～27日
- ▽議会改革検討特別委員会
1月30日
・政務活動費の手引きの見直しについて
- 2月14日
・政務活動費の手引きの見直しについて
- ▽広報広聴委員会
3月20日
・議会だより第51号について
・市民へ市議会を周知する冊子の作成について
・視察結果報告書について
- 4月3日
・議会だより第51号について
- ▽図書室運営委員会
4月3日
・平成29年度図書費決算について
・平成30年度図書費予算(案)について
- ▽行政視察
彦根市 (議会改革の取組(子ども議会、議場コンサート等)について)
堺市 (議会力向上会議について)
- 2月14日
・平成30年3月定例会の運営について

編集後記

春は別れと出会いの季節です。この冊子が皆さまのお手に届くころには改選を終え、新たに32名の市議会議員により、新体制での議会運営が開始されていることと思います。現在の広報広聴委員でお届けする議会だよりも今号が最後になりますが、誌面に彩りを添え、より読みやすくりニューアルをいたしました。これからもご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

広報広聴委員会

- | | |
|--------|-------|
| 委員長 | 矢島 章好 |
| 副委員長 | 石川 友和 |
| 委員 | 水沼日出夫 |
| 委員 | 齊藤 義則 |
| 委員 | 大野とし子 |
| 委員 | 古沢 耕作 |
| 委員 | 木村 圭一 |
| 委員 | 蛭間 靖造 |
| オプザーバー | |
| 議長 | 滝澤 英明 |
| 副議長 | 武 幹也 |

〒344-8577

埼玉県春日部市中央六丁目2番地

春日部市議会

TEL 048-736-1111 (代表)

内線3116

再生紙を使用しています。